

令和5年度宮城県地域クラブ活動指導者（スポーツ・文化芸術）研修会  
質問、意見・回答

1 地域クラブ活動指導者に必須となる資格または研修等がありますか。

回答

- 必須の資格等はありませんが、指導者として専門性や資質・能力を備えていることが期待されることから、競技・文化芸術の技術的な指導能力に加えて、スポーツ医学、暴力やハラスメントの防止に必要な知識・技能を身に付けることができる資格を有していることや、研修を受講していることが望ましいと考えられます。

例：公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格  
各競技団体の公認指導者

2 他研修会や講習会の情報をメールで送ってほしい。

回答

- 次回以降の研修会情報は、県ホームページに掲載するほか、みやぎ地域クラブ活動指導者人材バンクシステムでも御案内いたしますので、ぜひ人材バンクシステムへの御登録をお願いいたします。

- （公財）宮城県スポーツ協会のホームページには、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の研修会情報等が掲載されておりますので御参考ください。

[https://msports.mspf.jp/sp\\_shidousya/](https://msports.mspf.jp/sp_shidousya/)

3 みやぎ地域クラブ活動指導者人材バンクシステムで時給を入力するが、いくらに設定したらよいのでしょうか。県でその金額のガイドラインはありますか。  
（ないのであれば）県で目安を示した方がよいのではないのでしょうか。

回答

- ガイドラインはありません。指導者の時給は、指導するスポーツ・文化芸術活動の種類や、指導者資格の有無、指導する人数、指導内容等、様々な要因や地域クラブの意向によることから、県として目安をお示しすることは難しいと考えております。

4 本研修は、休日における部活動の地域移行がテーマとなっています。我が国の毎日の部活動は世界でも稀な活動です。なぜ、「休日は身体を休める」という議論にならないのでしょうか。もっとも自由選択としてクラブでの活動を否定するものではありません。

回答

- 地域クラブ活動は、任意での参加となります。

5 テキスト6P例1既存団体活用型、2派遣型、3拠点型地域移行について  
地域移行の地域について範囲をどのようにお考えですか。私は学区ごとと考えています。例のように1、2が先で部員数によって3が出てくる順序立てが分かりやすく各市町村の検討委員会や協議会も議論を進め易いと考えられるからです。如何でしょうか。

回答

- 地域移行については、市町村の実情に応じて、それぞれの協議会で検討を進めていただいているところです。

6 部活動の地域移行における学校との連絡、連携についてどのような形を想定していますか。

回答

- 市町村ごとに想定している地域移行の在り方によって変わります。
- 県立中学校は、派遣型で行っていますが、メールの活用や鍵付きの下駄箱を使った文書のやり取りなどで、学校・顧問と地域の指導者が直接連絡を取り合っています。
- 既存団体を活用する場合は、連絡協議会等で参加している既存団体のとりまとめを行い、市町村教育委員会が仲介役として連携していくことや、新たにシステムをつくり、学校とのやりとりをしいていくことが考えられます。
- そういった連携の在り方を、今後、市町村で検討していくことになっています。

7 部活動の地域移行について、他県では大学との連携の話を聞いているが、宮城県内で大学との連携はどの程度進んでいますか。

回答

- 仙台大学と仙南の市町村が連携しているとお聞きしています。